

インターネット上の違法・有害情報の検出技術に関する研究開発

ISPやコンテンツ監視事業者が行う違法・有害情報監視業務の効率化を支援するための基盤技術として、NGワードの前後の文脈等を解析することで単純な文字列処理では得られない非表層的な意味(例えば隠語等)の分析を可能とし、違法・有害情報の候補を抽出する技術を研究開発

研究開発期間:平成21年度～平成23年度(3年間)
予算:180百万円程度(平成21年度、上限)

同一の監視業務を現在の半分程度の人員で実現するための基盤技術

